

編 集 後 記

今月は失行症・失認症の特集をおとどける。失行症・失認症は脳卒中をはじめとする脳障害のリハビリテーション（以下リハと略す）において、最近、識者の関心が著しく高まっているテーマであり、今春の神戸での日本リハ医学会においても、セミナーのテーマとしてとりあげられている。今回の特集ではその際の主演者であった上田氏、鎌倉氏、指定発言者の福井氏のほか、大橋氏、大土井氏にも加わっていただき、さらに充実した内容となった。リハ医学会でのセミナーの演者であったかたがたもセミナーの際とは多少異なった角度から筆をとっておられるので、セミナーを聴かれた読者にとっても興味深いことと思われる。大橋氏は失行症・失認症の考え方の成り立ちについて、先人の研究のあとを

追っての詳細な歴史的な紹介をされた。上田氏は失行症・失認症患者のリハについての考え方に関して明確な路線を示された。福井氏は失行症・失認症における左右大脳半球の関与について、男女差その他の興味ある知見を紹介された。大土井氏は半側空間失認についての詳細な検査法の紹介と、診断基準の提案をされた。鎌倉氏は失認患者に対するアプローチの実際についての自験例を紹介された。いずれも価値ある論文であり、啓発される所が大であった。この特集によって失行症・失認症への関心がリハにたずさわるかたがたの間でさらに高められることを期待したい。

河邨氏の巻頭言は福祉とリハとの関係についての現在の歪みをするどく突かれており、その在るべき姿を示されている。（横山巖）

編集顧問

天 児 民 和
大 島 良 雄
小 池 文 英
砂 原 茂 一
津 山 直 一
水野 祥太郎

編集委員

明 石 謙
上 田 敏
大 井 淑 雄
大 川 嗣 雄
荻 島 秀 男
土 屋 弘 吉
横 山 巖

編集同人

赤 津 隆
青 山 孝
今 田 拓
今 村 哲 夫
江 口 寿 栄 夫
小 野 啓 郎
河 邨 文 一 郎
金 久 卓 也
兼 松 英 夫
五 味 重 春
沢 村 誠 志
杉 山 尚
中 村 裕
野 島 元 雄
間 得 之
長 谷 川 恒 雄
橋 倉 一 裕
平 方 義 信
三 島 博 信
山 内 裕 雄
渡 辺 英 夫
飯 田 卯 之 吉
遠 藤 千 恵 子
小 川 孟
加 藤 一 郎
小 島 蓉 子
笹 沼 澄 子
鈴 木 明 子
高 田 玲 子
陳 慧 玉
(以上五十音順、敬称略)

(細田, 田村, 鹿島)

次 号 予 告 (第3巻第12号)

特 集 リハビリテーションと精神的諸問題

脳卒中のリハビリテーションにおける

精神的諸問題……………鹿教湯病院 間 下 信 昭・他

老人のリハビリテーションにおける

精神医学的側面……………都老人研 柄 沢 昭 秀

器質性脳疾患をもつ患者のリハビリテーション……………信州大 竹 中 星 郎

脳性麻痺児の情緒障害と行動異動……………札幌療育センター 今 村 重 孝

リハビリテーションにおけるモチベーションの働き

一女性の義手装着訓練過程の中で……………兵庫県リハセンター 丸 尾 宏 子・他

座談会／リハビリテーションと精神的諸問題……………横浜市大 大 川 嗣 雄・他

研究と報告 Plastic の下肢装具への利用……………熊本大 渡 辺 英 夫・他

一頁講座 トランスデューサーの各種 (11)……………労災義肢センター 土 屋 和 夫